

## あさいと えのぐ箱 藤田由紀子さん

私は高知に住んでいます。

高知県は地図で見ると四国の下の方にあり、横に細長い形で、大半が山ですぐ海岸線です。何もありません。若い頃は、おもしろくなかったですね。東京や大阪に行きたいと思ったことが何度もありました。

でも、だんたん年を重ね今の年齢になってくると、自然いっぱい魚はおいしいし、山の空気は新鮮、高知が好きになりました。

そんな高知のことを3つご紹介します。

まずは、料理です。県外から来られた方は、珍しがります。皿鉢（さわち）料理です。さらち料理とも、地域によって言い方が違ってきます。

そのお料理というのは、大皿に、カツオの刺身、にぎり寿司、巻き寿司、天ぷら、エビ料理

ショートケーキ又は羊羹なんかもち盛り付けられています。甘党の人もいますよね。子どもからご年配者まで一緒に囲んで食べるんです。みんなが楽しめるように考えられてるんですね。高知ではお酒好きの人が自宅で宴席を設けることがよくあります。その家の奥さんは大変です。料理を次々と出してもてなします。自分では食べる時間なんかありません。そこでみんなで一緒に席に着きお酒を酌み交わして楽しく交流しようとの思いも込めて考えられたと言われています。毎年、3・4月には「土佐のおきやく」があります。お客様という意味ではなく、みんなでお酒を酌み交わして交流する事です。街のアーケードではコタツやストーブを配置してあり、好きなお料理を買ってその場で飲んだり食べたり宴会をするというイベントなんです。とっても楽しいですよ。

2つ目は、高知県の中央より東側、安芸方面に向かうと赤岡という町があります。

そこでは「どろめ祭り」が開催されます。どろめというのは白くて小さくて生の魚です。目玉がはっきり見え、見た目では皆に敬遠されがちですが高知では美味しく食べています。それをお酒のあてにしておいに飲もうというお祭りですね。そこは海岸沿いの地域です。お祭りでは男女別に時間を競い合います。男性は1升の日本酒、女性は8合（訂正：実際は5合でした。）日本酒を飲み干します。大きな杯に日本酒を入れますのでかなり重いですよ。支えてもらいながらの競争です。急ぎ過ぎると口からこぼれてしまいます。こぼれすぎてしまうと失格になってしまいます。できるだけこぼさず飲み干さなければなりません。こんな競技ですから急性アルコール中毒になることも心配されます。お祭りの会場にはなんと救急車・医師・看護師が待機しているんです。何事も起こらないようにとハラハラしてるのではないのでしょうか。勝負が終わると、胃の中のお酒をすべて吐き出してしまいます。また、途中で体調の悪くなる人もでます。そんなにしてまで参加するなんてとも思うんですが。

大勢の観客も集まり盛り上がります。そんなわけで、高知と言えばお酒のイメージがありますよね。県外に行くと、高知の人と分かると「じゃあ、お酒強いでしょう」とよく言われてしまいます。高知県民だって弱い人もいますよ。強い人、弱い人それぞれですね。ご理解いただきたいですね。

3つ目紹介しますね。「モーニング」です。朝食を喫茶店に行って食べることをいいますね。高知には良いモーニングのある喫茶店がたくさんあります。安くておいしいお店が多くあるので、どこも競い合っているんでしょうね。私はよくモーニングを食べに色んな喫茶店に行きます。それぞれ違ってとても面白いですよ。私はこれがモーニングと思ってましたし、これが当たり前だと思っていました。

出されたモーニングは、コーヒー・パン（又はおむすび）サラダ・スープ・味噌汁・デザ

ートまでどーんと運ばれてきます。たのしくなって食べてしまうので満腹になり大満足です。

そんな高知の喫茶店が当たり前とっていました。ですから県外に行った時喫茶店を出てきたモーニングを見た時は「何？これだけ？」とかなりびっくりしてしまいました。

コーヒー・パン・ゆで卵だけでした。県外ってこんなものなのかとあきらめて食べました。そして待っていました。・・・待つと言うのは、高知の喫茶店は食べ終わると必ずお茶のサービスがあるのです。これ飲んだら早く帰ってね、の意味なのか、ゆっくりどうぞ、の意味なのか定かではありませんが、ついつい、高知のつもりで待っていたんですよ。でも、いつまでたっても出てこなくて、・・・恥ずかしい思いをした経験があります。

高知の坂本龍馬、皆さんご存知ですよ。ね。(坂本龍馬の手話表現：桂浜にある龍馬像のポーズ 右手を懐に入れている様子で表現します) 他にも有名な物、よさこい祭りなど、その中で培われた面白い文化が数多くあります。皆さんにも知って欲しいと思ってお話ししました。

他にもまだまだありますよ。乞うご期待。